

講演会のご案内

第六共和政へ？

——フランス憲法改正のめざすもの——

主催：札幌日仏協会/アリアンス・フランセーズ札幌、小樽商科大学
共催：法学研究科附属高等法政教育研究センター

ド・ゴール将軍のために「しつらえた」と言われた第五共和制（1958年）は、2008年に50周年を迎えたが、ド・ゴール大統領の退陣、政権交代、コアビタシオン等の危機を乗り越えその適応能力の高さを証明している。

しかしながら、政治の場では、この第五共和制に関する討議が繰り返され、2008年7月、サルコジ大統領が第五共和制下における最大の憲法改正案を提出し、採択されるに至った。これは、1958年体制で確立された公権力の均衡を見直すものなのか？

歴史に興味を持つ者のみならず、フランス政治の仕組みをもっと良く理解したいという者たちに対しても、フランシス・メジエール副文化参事官によるこの講演会は、大変興味深い答えを示すものとなるであろう。

講師：フランシス・メジエール氏

（在日フランス大使館副文化参事官）

コメンテーター：吉田 徹

（北海道大学法学研究科准教授）

【話者プロフィール】 フランシス・メジエール氏

歴史学修士。日本、韓国、オランダ等赴任地において、フランス政治に関する講義や講演会を多数行う。元東京日仏学院教師、元横浜日仏学院館長。2008年9月、在日フランス大使館副文化参事官着任のため再来日。

日時：2010年6月12日（土）午後5時～

会場：小樽商科大学札幌サテライト大講義室

札幌市中央区北5条西5丁目7番地

sapporo55ビル3階

【日本語通訳付・入場無料】